

「平成29年度に実施した仕事」の振返りシート

記入日 平成 30 年 6 月 1 日

仕 事 の 内 容	健康づくり推進会議の開催				
担当部署・課長名	健康	課	庶務	係	課長名 志村明子

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 保健・医療の充実

(総合計画書 47 ページ)

予算名	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費	目 1	保健衛生総務費	事業 2	保健事業費
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 推進会議委員				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) → 推進会議委員数			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 市民の健康保持のため健康づくりに関すること及び保健センターに関することを検討する。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) → 推進会議への出席者数(延べ人数)/委員数×会議開催数			
	③ そのために何をしましたか。 推進会議の開催				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) → 推進会議の開催回数			

2 指標の推移			単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度目標	平成31年度目標
	対象指標	①の数値	人	14	14	14	/	/
	成果指標	②の数値	%	86	85	62	/	/
	目 標	②の目標値						
	目標値設定の考え方		委員の出席率					
活動指標	③の数値	回	3	6	6	/	/	

3 経費	事業費(実績)		円	209,198	408,523	373,436	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,253,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成28年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円					
		特定財源	円					
		(うち受益者負担)	円					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3		
		所要人数(再任用)	人					
		職員人件費(再任用以外)	円	2,469,900	2,480,100	2,475,900		
職員人件費(再任用)		円						
事業費+人件費		円	2,679,098	2,888,623	2,849,336			

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
	市民の健康の維持・増進を図ることを目的として、昭和56年に東大和市健康づくり推進会議設置要綱を施行し、会議を開催している。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 平成26年度に東大和市健康増進計画が策定され、この計画の実施状況報告を会議で情報提供を行った。	

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成29年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	なし	

仕 事 の 内 容	健康づくり推進会議の開催			
担当部署・課長名	健康	課	庶務	係 課長名 志村明子

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)			
	取り組んだ	取組手法	② 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体:) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
	(2)平成30年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。 情報提供を行い、活発に意見交換ができる場としたい。			
7 課 題	(1)平成28年度の課題についての解決に向けた取組や、事務改善など、平成29年度に実施したことをご記入ください。 平成29年度に作成した健康ウォーキングマップについて情報提供を行った。			
	(2)この仕事を振り返り、課題をご記入ください。 会議の出席率が低下しているため、委員は、様々な団体から委嘱されており、多様な視点で有効な会議とするため出席率の向上に向けて検討する必要がある。			
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性(「7 課題(2)」を踏まえた具体的な改革・改善案など) 会議の議題内容を精査し、開催回数などを検討する。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的にご記入ください。 任期がまたがっている年度については、前年度に年間予定を決めることを検討する。			
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を維持する。		経費	仕事の経費は維持する。